

CYBER NEWS

2024
No. 3

SNSでは、言葉の使い方に気をつけよう



SNSで友だちと遊ぶやくそくをしていたYくんがメッセージを送ったよ。

Tくんは、なんで来るの？

きみはA、Bどっちだと思おう？

A

Tくんは、どうやって来るの？



B

Tくんは、どうして来るの？



Yくんは、Tくんが公園にどうやって来るのか、方法が知りたかったみたいだな。
なんでかんちがいされちゃったんだろう？

その後のやりとりは…

Tくんは、なんで来るの？

Yくん、そういう言い方はひどいよ！

ひどすぎ！

Yくんをさそうのやめようぜ！

そんなつもりじゃないのに…



SNSなどは顔を見ないで文字だけでやりとりするから、気持ちが伝わりにくい。
「なんで」じゃなくて「どうやって」と言えばよかったわね。



相手にかんちがいされないためには、どうしたらいいのかな？

絵文字や「？」「！」マークを使って気持ちを表すのもいいよ。
「なんで」「やばい」「～ない」などの言葉は、悪口に聞こえたり、ごかいされることもあるので、よく考えて使ってね。



保護者の皆さまへ

SNSは非対面のコミュニケーションツールであり、お互いの感情が伝わりにくいいため、言葉の使い方を誤ると他人を傷つけてしまったり、いじめや誹謗中傷といったトラブルに発展することがあります。
一度送信してしまうと、あっという間に拡散してしまうため、完全に削除することは困難です。
トラブルにならないために、普段からお子様とSNSの利用方法についてよく話し合うとともに、お子様がSNSを利用してメッセージ等を送信する際は、送信する前に内容についてよく確認しましょう。